

肝臓移植希望者(レシピエント)選択基準 新旧対照表

別紙 4

改正後	現行基準
2. 優先順位 (1)・(2) (略) (3) 医学的緊急性 Status I、Status II の順に優先する。 Status の定義： Status I；緊急に肝移植を施行しないと短期間に死亡が予測される病態や疾患群を対象とし、予測余命 1 ヶ月以内の疾患・病態群とする。 Status II；I 群以外の全症例は MELD スコア*の高い順に優先順位を設定する。この MELD スコアは、Status I の場合 7 日、Status II で MELD スコア 25 点以上の場合 14 日、19 点以上 24 点以下の場合 30 日、18 点以下の場合 90 日以内に更新し、更新されない移植希望者については候補者から外れる。 MELD スコア* = $9.57 \ln(\text{血清クレアチニン値 mg/dl}) + 3.78 \ln(\text{血清総ビリルビン値 mg/dl}) + 11.20 \ln(\text{PT-INR (血液凝固能)}) + 6.43$ MELD スコア計算用に入力する検査値は、小数点第 2 位を四捨五入し、小数点第 1 位までを入力する。検査値は以下の範囲内で入力し、指定範囲より低値の場合は指定範囲の最小値、高値の場合は指定範囲の最高値を入力する。また、透析時の場合は血清クレアチニンの指定範囲の最高値を入力する。 血清クレアチニン；1.0-4.0 血清総ビリルビン；1.0-999.9 PT-INR；1.0-999.9 MELD スコア計算結果は、小数点第 1 位を四捨五入した整数とする。	2. 優先順位 (1)・(2) (略) (3) 医学的緊急性 Status I、Status II の順に優先する。 Status の定義： Status I；緊急に肝移植を施行しないと短期間に死亡が予測される病態や疾患群を対象とし、予測余命 1 ヶ月以内の疾患・病態群とする。 Status II；I 群以外の全症例は MELD スコア*の高い順に優先順位を設定する。この MELD スコアは、Status I の場合 7 日、Status II で MELD スコア 25 点以上の場合 14 日、19 点以上 24 点以下の場合 30 日、18 点以下の場合 90 日以内に更新し、更新されない移植希望者については候補者から外れる。 MELD スコア* = $9.57 \ln(\text{血清クレアチニン値 mg/dl}) + 3.78 \ln(\text{血清総ビリルビン値 mg/dl}) + 11.20 \ln(\text{PT-INR (血液凝固能)}) + 6.43$ MELD スコア計算用に入力する検査値は、小数点第 2 位を四捨五入し、小数点第 1 位までを入力する。検査値は以下の範囲内で入力し、指定範囲より低値の場合は指定範囲の最小値、高値の場合は指定範囲の最高値を入力する。また、透析時の場合は血清クレアチニンの指定範囲の最高値を入力する。 血清クレアチニン；1.0-4.0 血清総ビリルビン；1.0-999.9 PT-INR；1.0-999.9 MELD スコア計算結果は、小数点第 1 位を四捨五入した整数とする。

肝臓移植希望者(レシピエント)選択基準 新旧対照表

(削除)	<u>(注1) 原疾患が以下の場合、移植希望者(レシピエント)登録時に MELD スコア換算値を 16 点 (HIV/HCV 共感染重症は 27 点) とし、登録日から 180 日経過するごとに 2 点加算する。</u> <u>【疾患名】</u> <u>HIV/HCV 共感染軽症；肝硬変 Child スコア 7 点以上 (HCV 単独感染で 10 点以上相当)、HIV/HCV 共感染重症；Child スコア 10 点以上、胆道閉鎖症・カリ病 2；内科的治療に不応な胆道感染 (過去 3 ヶ月以内に 3 回以上) が存在する場合、もしくは反復する吐下血 (過去 6 ヶ月以内に 2 回以上) で内科的治療に不応な場合、アラジール症候群 2、polycystic liver disease、門脈欠損症、tyrosinemia type1、家族性肝内胆汁うっ滞症 2；高度の栄養不良と、成長障害、制御できない掻痒感が存在する場合、glycogen storage disease type 1、galactosemia、Crigler-Najjar type 1、cystic fibrosis、家族性アミロイドポリニューロパチー、尿素サイクル異常症、有機酸代謝異常症、高尿酸尿症 (オキサローシス)、ポルフィリン症、家族性高コレステロール血症 (ホモ接合体)、プロテイン C 欠損症、原発性硬化性胆管炎 2；胆管炎を 1 ヶ月に 1 回以上繰り返す場合、原発性硬化性胆管炎 3；発症時年齢 18 歳未満、腸管不全関連肝障害；小腸移植適応評価委員会において肝・小腸同時移植の適応と判断された場合 (総ビリルビン値 6mg/dl 以上)</u> <u>(注2) 肝細胞がんについては、90 日経過するごとに画像検査及び AFP 測定を施行し、ミラノ基準 (※1) 又は 5-5-500 基準 (※2) の遵守を確認した上で、登録時の MELD スコアに 2 点加算した値を登録する。</u> <u>(※1) ミラノ基準の遵守とは、当該肝細胞がんが以下の事項を全て満たす状態を指す。</u> <u>①遠隔転移や脈管浸潤を認めないこと</u> <u>②最大腫瘍径 5 cm 以下 1 個、又は最大腫瘍径 3 cm 以下 3 個以内</u>
-------------	---

肝臓移植希望者(レシピエント)選択基準 新旧対照表

(注) 脳死肝移植希望者(レシピエント)適応基準に記載の疾患(その他の疾患も含む。)は、適応基準に合致することを確認した上で、疾患ごとに適応基準に定められた以下のいずれかの周期加点方法で MELD スコアに加算する。 A. 移植希望者(レシピエント)登録時に MELD スコ	(※2) 5-5-500 基準の遵守とは、当該肝細胞がんが以下の事項を全て満たす状態を指す。 ①遠隔転移や脈管浸潤を認めないこと ②最大腫瘍径が 5 cm 以下であること ③腫瘍個数が 5 個以内であること ④AFP が 500ng/ml 以下であること (注3) 原疾患が以下の場合、移植希望者(レシピエント)登録時に MELD スコア換算値を 16 点とし、登録日から 90 日経過するごとに以下の場合を確認した上で 2 点加算する。 【疾患名】 肝芽腫;画像検査を施行し、肝外転移がない場合、門脈肺高血圧症;右心カテーテル検査(小児など実施が困難であり測定精度が保たれる場合は心エコー検査による測定を代用とすることが可能)を施行し、平均肺動脈圧 35mmHg 以下が維持されている場合 (注4) 肝肺症候群については、登録時に MELD スコア換算値を 16 点とし、軽症(※)の場合、180 日経過するごとに 2 点、重症(※)の場合、90 日経過するごとに 2 点加算した値を登録する。また、軽症から重症に移行した場合、それまでの MELD スコアは継続し、登録更新時より 90 日経過するごとに 2 点加算した値を登録する。 (※) シャント率が 30%以上または PaO₂ が 60 mmHg 未満を重症とし、それ以外を軽症とする。 (新設)
---	---

肝臓移植希望者(レシピエント)選択基準 新旧対照表

<u>ア換算値を 16 点とし、登録日から 180 日経過するごとに 2 点加算する。</u> B. <u>移植希望者(レシピエント)登録時に MELD スコア換算値を 16 点とし、登録日から 90 日経過するごとに 2 点加算する。</u> C. <u>移植希望者(レシピエント)登録時に MELD スコア換算値を 27 点とし、登録日から 180 日経過するごとに 2 点加算する。</u> D. <u>移植希望者(レシピエント)登録時に計算で得られた MELD スコアで登録し、登録日から 90 日経過するごとに 2 点加算する。</u> <u>なお、周期加点の疾患群が A から B に変更される場合、変更前の MELD スコアは継続し、病態変化後の登録更新時より新しい周期加点方法にて MELD スコアを加算していくこととする。</u>	
--	--